

愛知学院大学歯学部倫理委員会

平成 28 年度第 2 回会議 次第

平成 28 年 6 月 2 日 (木) 15 : 00 ~

I. 報 告

1. 平成 28 年度第 1 回倫理委員会議事録 (案) (平成 28 年 4 月 7 日)
2. 再提出状況および委員長決裁について (報告)
3. その他

II. 協 議

1. 申請書類審議 (事前送付資料参照)
2. 申請者との 審議・面談
3. 判定結果の決定
4. その他

平成28年度愛知学院大学歯学部倫理委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	戸 莉 彰 史	薬理学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
○	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
◎	千田 彰	保存修復学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	武部 純	有床義歯学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	原田 純	麻酔学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	松原 達昭	内科学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	高木 敬一	愛知学院大学法学部教授	規程第4条(3)学識経験者	28.4.1-30.3.31
	黒神 聰	元愛知学院大学法学部教授	〃	28.4.1-30.3.31
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)一般人	28.4.1-30.3.31
	鏡山 典子	愛知教育大学教育・研究支援部 学生支援課 嘱託職員	〃	28.4.1-30.3.31

平成28年度 第2回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
2	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
3	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
4	実施責任者	原田 純
	研究課題	経鼻気管挿管時におけるビデオ喉頭鏡の有用性の検討
	概要	全身麻酔の管理にあたってはより確実な気道確保法として、気管挿管が広く行われている。この気管挿管操作は喉頭鏡と呼ばれる器具を用い、喉頭・声帯を直視し、チューブを気管内へ挿入する。ところが、少数の患者で声帯を直視で確認する事が困難な場合があり、さらに歯科口腔外科領域では、経鼻気管挿管が多く用いられているが、経鼻気管挿管と比較し難易度が高い。 ビデオ喉頭鏡は挿管操作を容易にする目的で開発された間接視認型喉頭鏡であり、先端にCCDカメラを内蔵することでモニター画面上に声帯を映し出す事を可能とする。喉頭鏡による直視下では確認しづらい喉頭内部の観察も可能である。これまでにビデオ喉頭鏡が経口気管挿管に有用であったとする報告は散見されるものの、経鼻気管挿管に関する報告はない。そこで本研究課題では、ビデオ喉頭鏡を経鼻気管挿管に用いることで、その有用性を明らかにすることを目的とする。
5	実施責任者	内藤 宗孝
	研究課題	歯科用コーンビームCT画像を用いた下顎骨皮質骨の解析
	概要	公表不可
6	実施責任者	佐久間 重光
	研究課題	ワックスを用いた歯冠形成における製作物の完成度に関する調査
	概要	公表不可
7	実施責任者	嶋崎 義浩
	研究課題	知的障がい者に対するタッチケアが与える仕上げ磨き時の非協力行動の変化
	概要	知的障がい児は、自力でのブラッシングが困難な場合が多く、齲蝕や歯周病の罹患率が高いことが知られている。彼らの口腔の健康を維持管理するためには、養育者による「仕上げ磨き」が重要である。ただ、知的障がい児は、口腔に対して過緊張を保有している場合が多く、養育者の仕上げ磨きに対して嫌がる、泣く、暴れるなどの非協力的行動を起こすためスムーズに行えない。そのため、口腔に対する過緊張を緩和して仕上げ磨きをする必要がある。 タッチケアは、身体や顔などに手で触れることで相手の緊張をほぐす効果のあるケアであり、タッチケアが過緊張を改善する可能性を示した報告がある。またBowlbyは、子どもの社会的、精神的な発達のために養育者との「愛着(アタッチメント)」の必要性を提唱しており、アタッチメント形成において、子ども時代のボディータッチが重要であることを報告している。 そこで、本研究は障がい児の過緊張に対してタッチケアを行うことが、仕上げ磨き状況にどのような影響を与えるかを検討する。また、初回調査時と再評価の養育者の子育てに対する心理的変化も合わせて検討する。
8	実施責任者	吉田 和加
	研究課題	口腔粘膜病変の発生機序解明に向けた基礎的・臨床病理学的研究
	概要	公表不可

平成 28 年度第 2 回歯学部倫理委員会議事録

日 時：平成 28 年 6 月 2 日（木） 15 時 00 分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第 1 会議室

出席者：千田、本田、池田、前田、戸苅、松原、高木、黒神、柿田、鏡山

欠席者：武部、原田

報 告

1. 平成 27 年度第 1 回倫理委員会議事録について

委員長から、資料により報告があり、原案どおりこれを了承した。

2. 再提出状況および委員長決裁について

委員長から、資料に基づき報告があり、前回の「条件付承認」「修正の上承認」等についての提出状況について説明があった。

- ・修正の上承認 1 件：1 件 承認

議 題

1. 倫理審査について

委員長から提議され、今回 9 題の申請があり、内 6 題については、それぞれについて実施責任者または分担者から研究概要の説明を受け判定したい旨述べられた。内 3 題については、以前条件付承認と判定しており、再度申請があったため、委員会内で回覧審査し判定したい旨述べられ、これを承認し、順次実施した。

審査結果について歯学部倫理委員会規程第 6 条 4 項に基づき、出席委員の 3 分の 2 以上の合意によるものとし、委員長が取り纏めて審査判定を行うこととした。9 件の審査判定について、承認 3 件、修正の上承認 3 件、条件付承認 1 件、その他（保留）1 件、その他（非該当）1 件とした。

閉 会：17 時 40 分